

医療法人社団平成会平成病院

坂本眞一先生提出資料

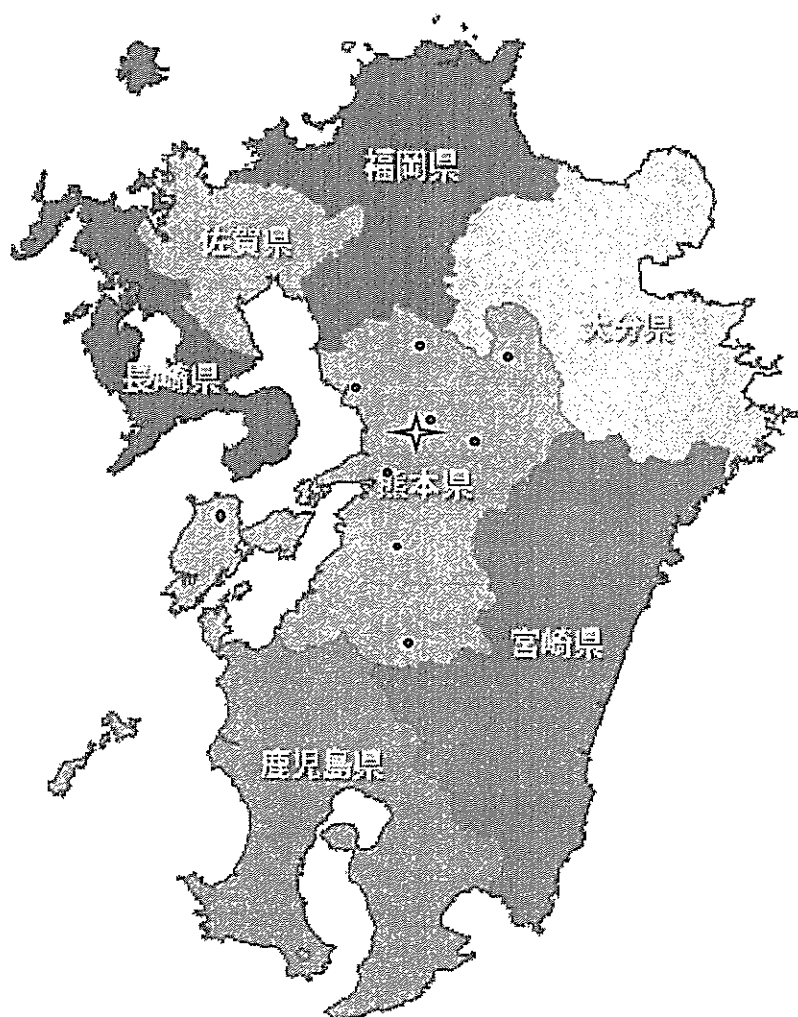
熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター ～これまでの活動内容と今後の課題～

医療法人社団 平成会 平成病院
院長 坂本 眞一

本日のプログラム

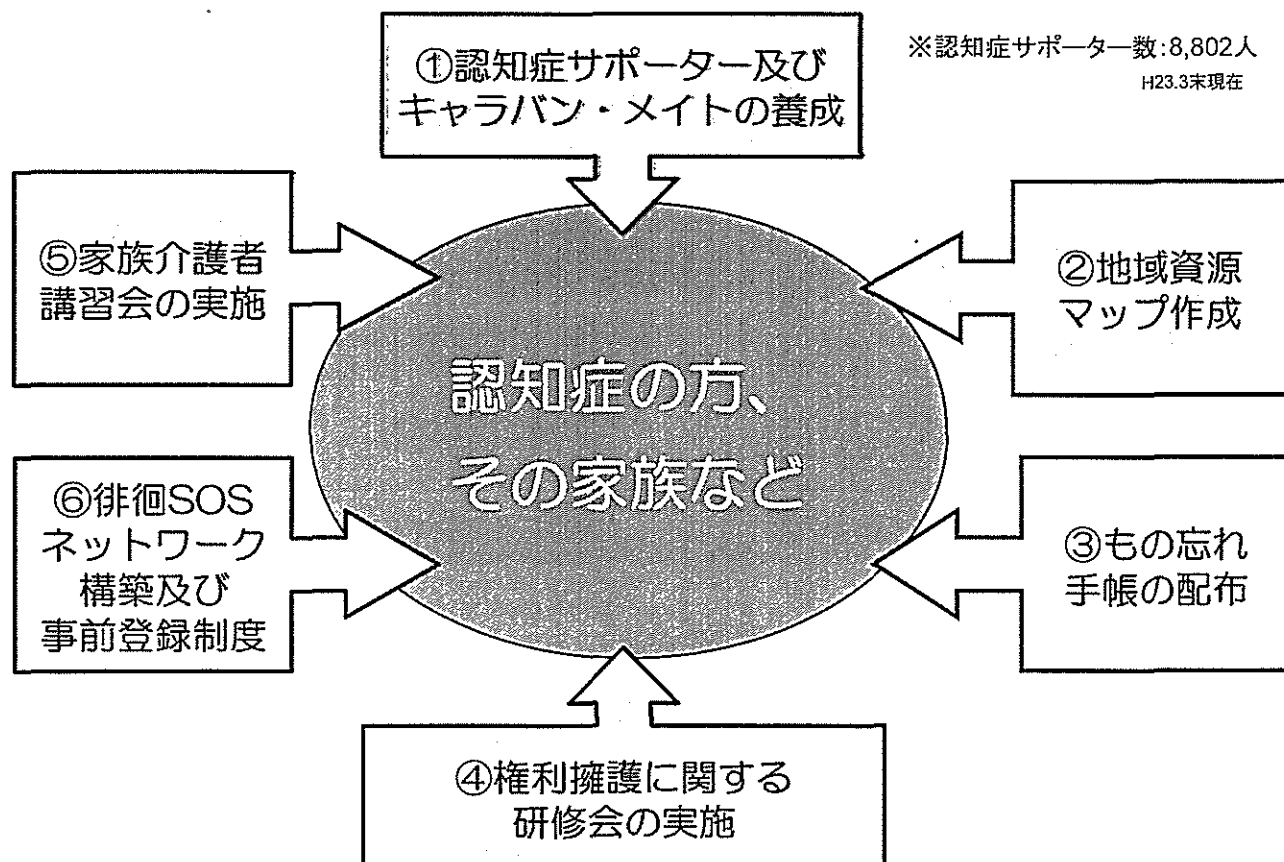
1. 八代市の現状（地域ネットワークへの期待）
2. 地域拠点型認知症疾患医療センターの活動状況
 - ◆ もの忘れ相談手帳・受診手帳
 - ◆ やつしろ認知症研究会

1.八代市の現状



全人口	133,706 人
高齢者人口 (高齢化率)	37,501 人 (28.0%)
前期 (65歳～74歳)	16,652 人
後期 (75歳以上)	20,849 人

認知症地域支援体制構築モデル事業として



2.地域拠点型認知症疾患医療センターの活動状況

具体的な活動状況 ①

～センターとして～

- ・ 専門医療相談により、鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ・ 身体合併症や周辺症状への急性期対応
- ・ 受診拒否時の医師による訪問医療相談
- ・ 事例検討会、研修会の開催

⇒ **やつしろ認知症研究会**

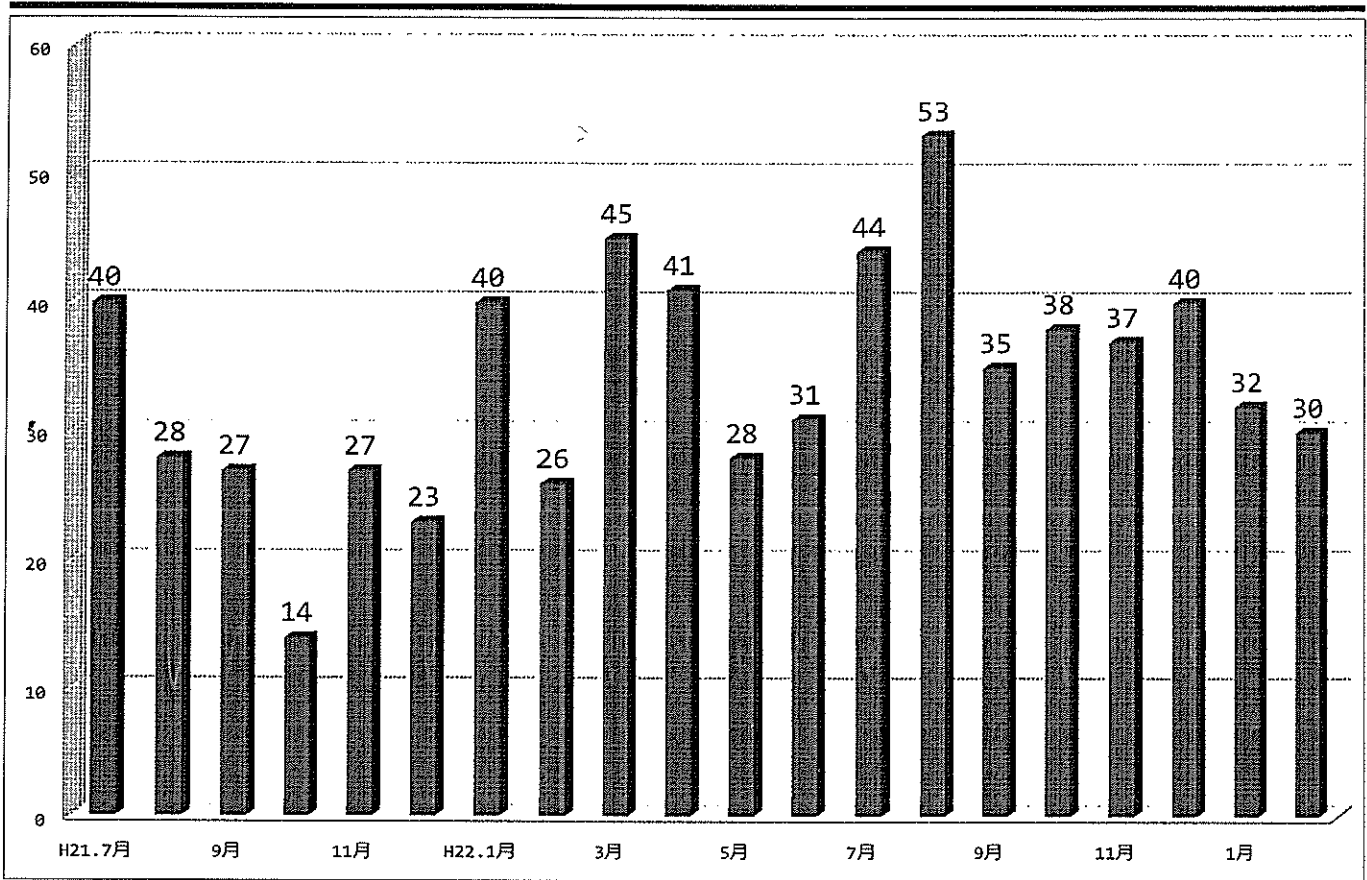
具体的な活動状況 ②

～連携担当者～

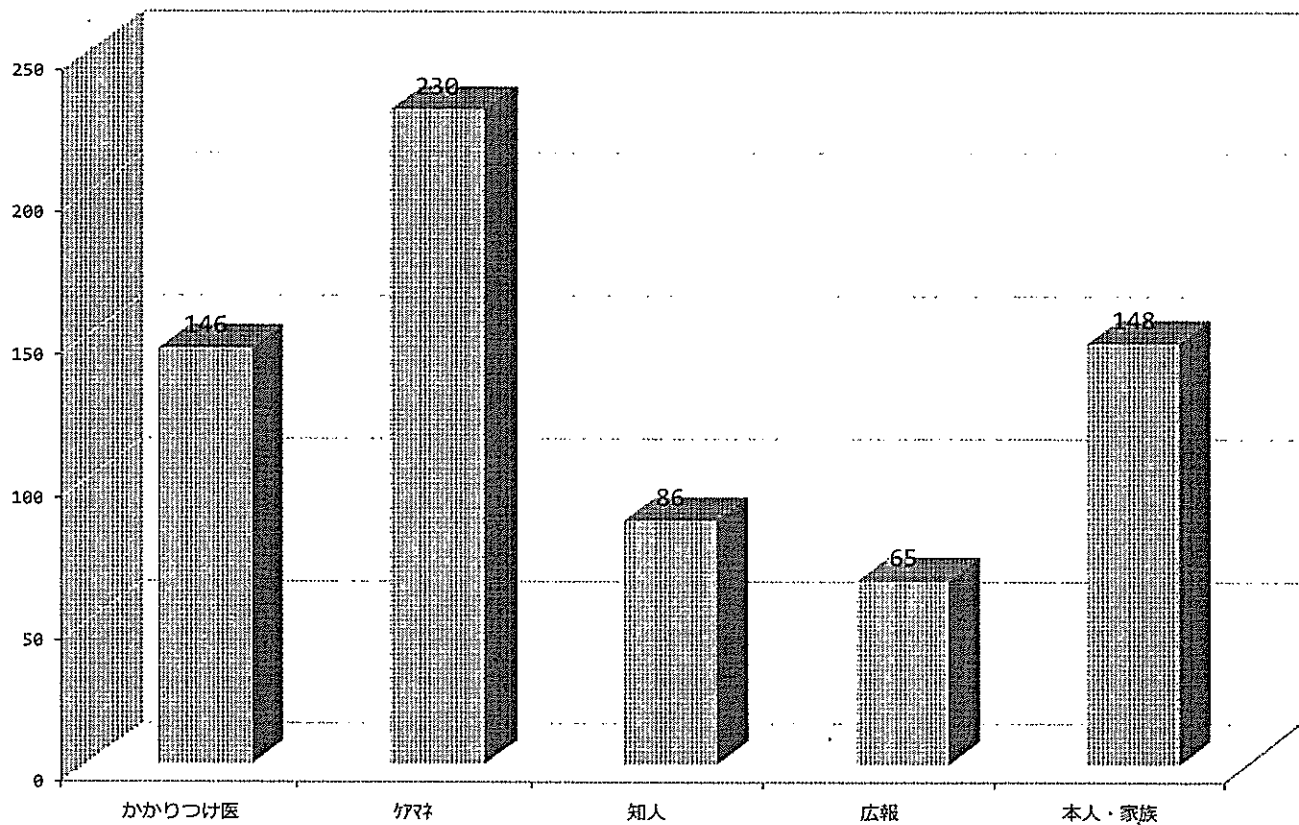
- ・ 電話、来院での専門医療相談、また必要により訪問医療相談に対応。
- ・ 受診時期の判断(急な悪化や周辺症状により)
- ・ 各包括支援センターへの定期的訪問
- ・ 必要により、他施設・病院との連携
- ・ 各包括支援センターと認知症サポーター養成講座や事例検討会開催の企画



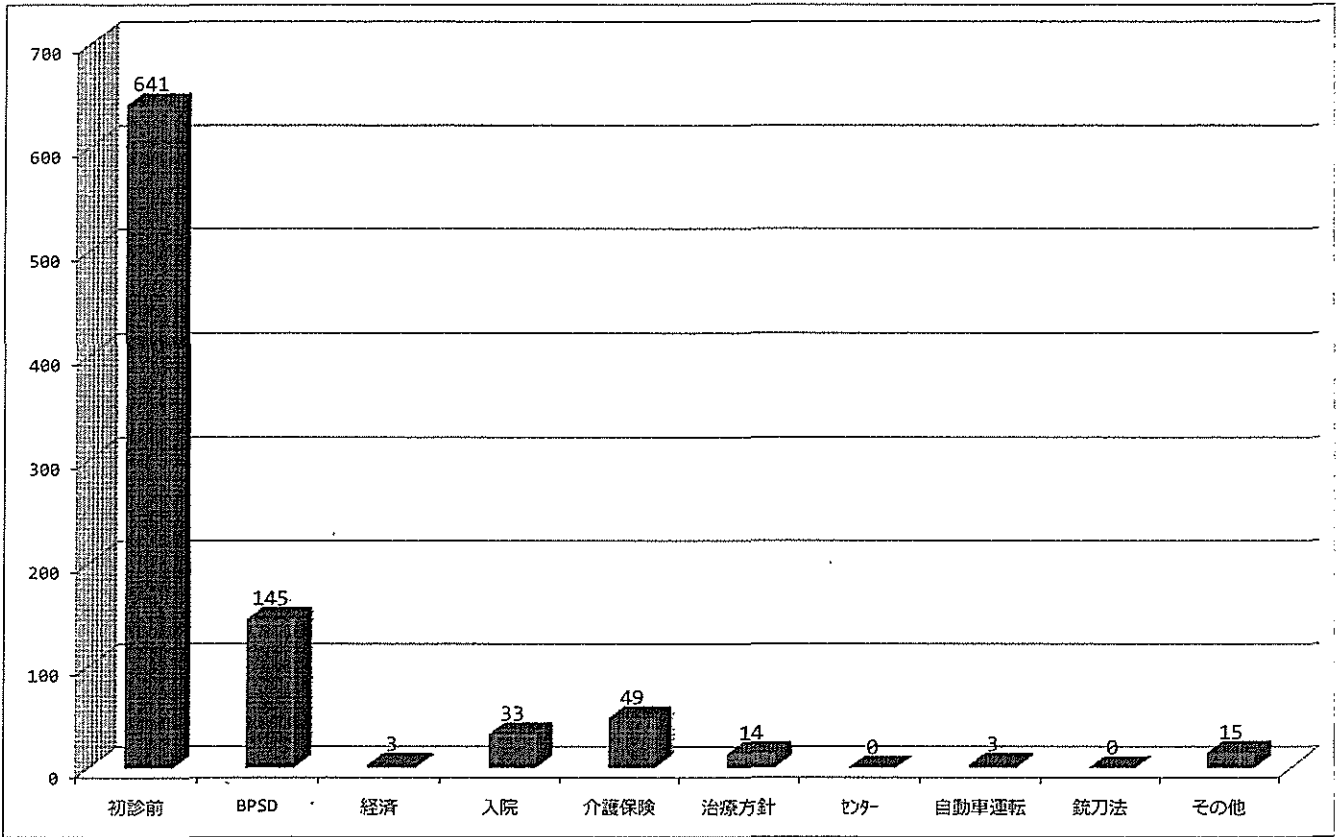
相談件数



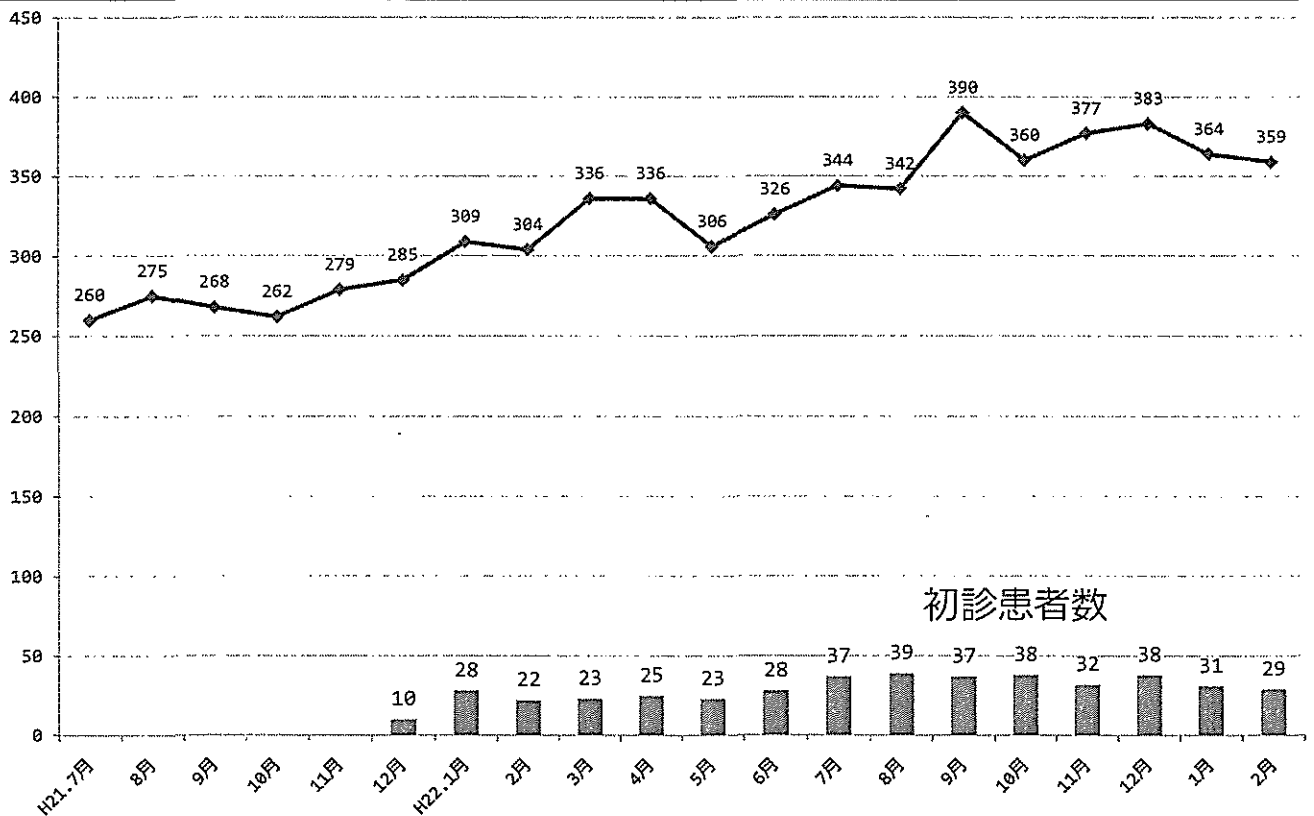
相談経緯



相談内容

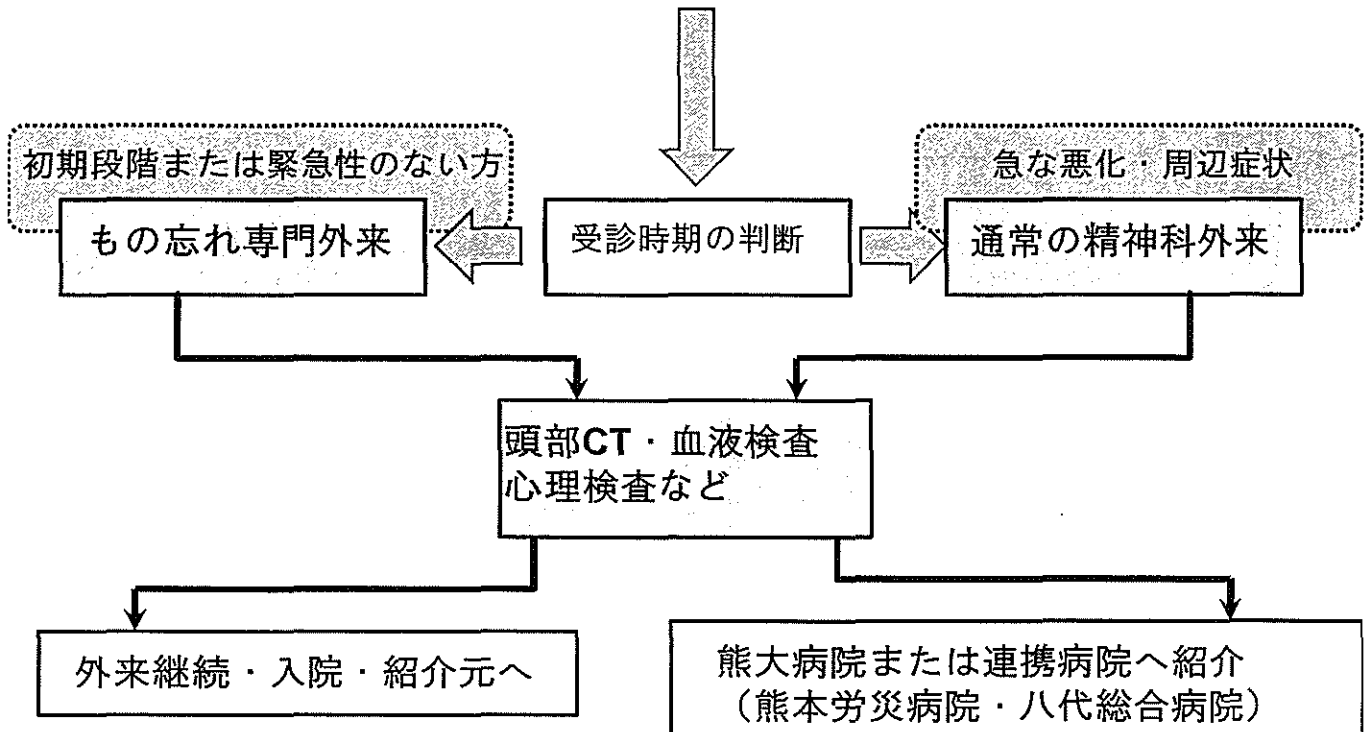


認知症患者来院数



予約から受診までの流れ

専門医療相談(電話・来院・訪問相談)



当認知症疾患センターの成果

1. 啓発活動等により、地域の方々の認知症に対する
2. 包括支援センターへ月1回訪問をしていることにより顔のみえる関係ができ、受診につながり、その後の連携が取り易くなった。
3. 定期的研修会、講演会、事例検討会の開催により、かかりつけ医、ケアマネージャーからの相談件数が増加